



すわべ たかとし  
**諏訪部 孝敏** 議員  
(政経会)

### 通学路の安全対策について

**問** 子どもたちの登下校の安全確保を前提に、横断歩道や道路標識の整備及び通学路周辺の放置された空き家や空き地の管理など安全対策について伺う。

**部長** 市内の小・中学校の通学路における空き家について調査を行ったところ 20 件の空き家を確認している。そのうち危険性のある 3 件については適正管理を依頼している。

**問** 通学路の安全点検について具体的に伺う。

**部長** 教職員が通学路を実際に歩いて危険箇所がないか点検をしている。

### 森林管理及びナラ枯れ対策について

**問** 市内のナラ枯れ被害の状況はどうなっているのか、ナラ枯れ対策として市の考えを伺う。

**部長** 令和 2 年 7 月から市有林の監視や市民の方

からの相談を通じて把握しており、市内のほぼ全域で確認されている。また、静岡県内の発生範囲は、県東部の小山町から当市にかかる富士山南麓と伊豆の一部、志太榛原地区での発生が確認されている。これらの地域は静岡県の森の力再生事業の対象となるので、この事業を活用するなどして森林の若返りや山の機能回復を図り、森林整備を進めていく。

### 新型コロナウイルス感染症に伴う継続的な対応と対策について

**問** 感染者等への誹謗中傷に対するケアについて市の考えを伺う。

**部長** 感染者等に対する誹謗中傷や嫌がらせが社会問題化している。実際に、誹謗中傷等に関する相談があった場合には、市民生活課くらしの相談係が窓口となり、相談者に寄り添い、個別具体的な事情に応じ、支援が可能な関連機関への取次ぎなどを行う。さらに、市長自らが同報無線により市民に人権啓発を訴えるとともに、市のホームページに啓発記事を掲載する。



さいとう かずふみ  
**齋藤 和文** 議員  
(公明会)

### 富士宮市における防災と感染症対策について

**問** 令和 2 年 9 月に行われた家庭での防災訓練はどうだったのか。

**部長** 今年度は自主防災会の集団訓練ができないことから、自分や家族の命は自分たちで守る「自助」について振り返る良い機会と捉え、各家庭では災害時の避難等について話し合い、70%を超える児童生徒が参加した。

**問** 避難所の定員制を考え、教室等を開放することを検討すべきでは。

**部長** どの避難所も体育館が第 1 優先避難場所であり、学校の構造等によるが、第 2 にホールなどを、災害弱者用に保健室・武道場などを、炊き出しに調理室を定めている。教室は、感染症対策として通常授業に影響が出ない範囲で、空き教室などを発熱者スペースとして開放予定。

**問** 新型コロナ接触確認アプリ COCOA を市職員が積極的に導入することについて。

**部長** 市職員の導入率は 9 月末時点で 83%であり、今後も周知活用を依頼する。市民への周知については、折り込み広告や広報への掲載、更なる普及啓発に向けて医療福祉関係団体などにチラシ掲示等を依頼している。

### バリアフリー対策について

**問** 市役所内点字ブロックの設置スケジュールについて。

**市長** 当初令和 4 年度設置予定ではあったが、前倒して 3 年度中に設置を完成させたい思いである。

### SDGs の推進について

**問** RE100（事業運営に必要なエネルギーを 100%再生可能エネルギーで賄うこと）を導入することについて。

**市長** 市として積極的に再生可能エネルギーの情報収集、導入の取組を推し進め、再エネ由来電力の調達方法など調査研究を進めていく。